

○議長（小林哲雄）

日程第5 同意第3号 教育委員会委員の任命についてを議題といたします。

提案理由を町長に求めます。

町長。

○町長（府川裕一）

提案理由。教育委員会委員のうち、一人の任期が平成26年12月20日をもって満了となるため、後任の委員を選任したいので提案をいたします。よろしくお願いいたします。

○議長（小林哲雄）

細部説明を担当課長に求めます。

総務課長。

○総務課長（小宮好徳）

それでは、議案を朗読させていただきます。

同意第3号 教育委員会委員の任命について。

次の者を教育委員会委員に任命したい。よって地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第1項の規定により議会の同意を求める。

任命する者の住所、開成町延沢241番地5。氏名、村岡謙治。生年月日、昭和25年7月21日。現在64歳でございます。

平成26年12月4日提出、開成町長、府川裕一。

村岡謙治さんの略歴等をご紹介します。最終学歴といたしましては、昭和48年3月に、北海道教育大学教育学部をご卒業されてございます。職歴でございますが、昭和48年4月に南足柄市立北足柄小学校教諭となられ、昭和55年4月には南足柄市立岡本小学校教諭を歴任されてございます。平成3年4月、南足柄市教育委員会において、社会教育主事、指導主事でご活躍され、その後、平成16年4月には、南足柄市立岩原小学校校長、平成19年4月には、南足柄市立岡本小学校校長を歴任されてございます。平成23年3月に定年退職され、同年4月から平成25年3月まで、足柄上教育事務所で教育指導員としてご活躍されてございます。

推薦理由でございますけども、ご紹介したとおり、教職員として長年教育現場でご活躍されてございます。また、社会教育主事、指導主事を歴任され、教育行政についても幅広い見識をお持ちでございます。人格も高潔で、教育について幅広く見識を有し、地域からの信頼も厚く、教育委員として適任であると考えます。

以上のことから、村岡謙治さんを教育委員会委員として任命することにご同意いただきますよう、提案するものでございます。

なお、教育委員会委員の任期は4年でございます。

説明は以上です。よろしくお願いいたします。

○議長（小林哲雄）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑をどうぞ。

3番、吉田敏郎議員。

○ 3 番（吉田敏郎）

3 番、吉田でございます。お一人の方が 1 2 月 2 0 日をもって満了になるということとは承知しておりますけれども、こちらの方に対して、4 年 1 期ということでお務めをいただきました。こちらの方に対して、もう 1 期どうですかとか、自分のほうからやめるやめないとか、そういう話はされたのかどうかをまずお聞きします。

○議長（小林哲雄）

教育総務課長。

○教育総務課長（橋本健一郎）

では、私のほうからお答えさせていただきたいと思います。

前任者につきましては、渡部勇介さんということで、元開成小学校の校長先生でいらっしゃいます。うちのほうでも、もう 1 期お願いしたいということをお願いしたんですけれども、渡部先生につきましては、退職後、村岡さんと同じような形で、県の教育事務所で、教育指導員をされておりました。その途中から、教育委員ということで受けていただいております、今後、ご自分でもいろいろされたいこともあるということの中で、ここで退任されたいというお話でございましたので、新たに村岡さんということで、お願いしたいというふうに考えてございます。

以上です。

○議長（小林哲雄）

吉田議員。

○ 3 番（吉田敏郎）

吉田です。承知いたしました。今回、村岡さんという方で、町長が教育委員にふさわしいということで推薦して、議会に諮ってくるわけですが、広報紙のほうで、前任の方が満期をもって退任されました。今回こちらの方が新任になりますという紹介があるわけですが、やはり教育委員という方に対しては、町の教育に関して、非常に大事な機関の中で働いてくださっております。また、町の教育振興基本計画等々についても、いろいろ論議をしていただいております。その中で、まだ町民の方は、教育委員、並びに教育委員会、教育委員会事務局というのがどういうことしているのか、よくわからずに過ごしていることもあると聞きますし、広報紙の中で、町として、やめられた方もそうですけれども、新しくなる方を含めて、ちょっと詳しい説明と、教育委員というのはこういうことをしていると、ぜひ町民の方にわかりやすく周知していただくという、そういうことはいかがなんでしょうか。

○議長（小林哲雄）

教育委員会事務局参事。

○教育委員会事務局参事（小野真二）

議員のおっしゃられることはよくわかります。教育委員会、教育委員さんというのが一緒になっているようなところもあるかと思いますけれども、委員さんが変わられることに際して、そういうことをお知らせするのかなのかということもございますので、教育委員会の組織ですとか、教育委員会の役割ですとか、教育委員さん

のお立場ですとか、そういうようなものを広く住民の方にお知らせする機会を設けたほうがいいんじゃないかというようなご意見として、受けとめさせていただきまして、また、そのお知らせの方法等、広報というお話をいただきましたけれども、また検討をさせていただければというふうに思います。

○議長（小林哲雄）

ほかにございますか。

8 番、山田貴弘議員。

○8 番（山田貴弘）

8 番、山田貴弘です。このたび、議会側に同意を求めている村岡さんという方については、略歴等を聞いている中では、大変すばらしい人だということで、人物には問題はないと判断しているところなんです、ここ最近、教育委員会の役割というのが、いろいろと多方面に、役割とか仕事量という部分では、大変量が多いのをさばっているんじゃないのかなと。やはり教育現場の中を、生徒も含めて見る役割というのは大変重要になっている中で、ここ最近、任期は1期がいいのか、2期がいいのか、3期がいいのか、これは人格によるとは思うんですが、やはり教育の内容というのは、書面等そういうものを読み込めば理解はできると思うんですが、やはり教育現場の中というのは、その年度年度、課題というのもいろいろと変わろうかと思います。任期というものが果たして1期でいいのか。できる限り2期、3期という部分の中で務めていただきながら、よりよい教育環境をつくっていただきたいというのが、自分の気持ちの中で物すごくあって、1期で後任に変わっていくというのは、よほどの事情がない限りは、できる限り口説いて長く続けてもらおうということを、ぜひ今後やっていていただきたい。

その中で、例えば報酬的な部分で見合わない部分があるのであれば、それ相当の報酬を検討していかなきゃいけないという部分が出てくるのではないのかなと。要するに、報酬のために来ている人はいないと思うんですが、誰でも、お金はないよりあったほうがいいと思うんで、そこら辺を含めた中で、本当に今の制度でいいのかどうかという再検討が必要ではないのかなと。今回、教育長を除いて、全てが1期という部分で、今まで長く続いていた方がおられたのに、1期、1期という部分が続いたというのは、何かあるのかなという部分がありますので、そこら辺の検討を今後ちょっと考えられたほうがいいのかと感じておりますんで、そこら辺の意見がありましたら、答弁のほうよろしくお願いします。

○議長（小林哲雄）

教育長。

○教育長（鳥海 均）

大変、貴重なご意見ありがとうございます。教育委員につきましては、来年、平成27年の4月1日をもって、新たな教育制度のスタートということで、先般ご質問いただいたと思いますけども、その辺につきまして、文部科学省も心配しまして、委員が全て変わってしまうとか、任期途中で大きな変化がないように、一度に5人が入れ

かわることのないように、任期をさかのぼって、2年任期の委員や3年任期の委員をしてもよろしいというような通達が今回来ております。

今、議員おっしゃるように、やはり教育問題は非常にここに来て複雑多様化し、委員さんの任務も非常に重くなっています。教科書採択の問題一つにしても、なかなか難しい状況あります。しかし、保護者の代表も入れなさい、そしてまた幅広く民間の教育に直接携わっていない第三者的な委員も選びなさい、さまざまな要素の中で町長が人選をしてくるわけですので、今議員おっしゃるように、十分配慮しながら、教育が停滞しないように、ぜひ教育委員会としても、町長にお願いをしながら人選をしていきたいというふうに思っています。よろしくお願いします。

○議長（小林哲雄）

ほかにございますか。

（「なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

ないようですので、続いて討論を行います。討論のある方いらっしゃいますか。

（「なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

討論はないようですので、採決を行います。

同意第3号 教育委員会委員の任命について、原案に賛成の方の起立を求めます。

（起立全員）

○議長（小林哲雄）

お座りください。起立全員によって同意されました。